

ファブリック解放区

～木と布の融合で創り出す快適なアウトドア～



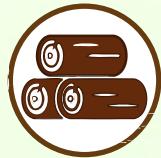
大阪公立大学の広大な敷地に広がる開放的で活気溢れる前庭。
風が強く日陰を作るのが難しいこのエリアで新しい冒険が始まる

コンセプト

パラソルなどの設置が難しい中ログハウス特有の壁の安定性と布の柔軟性を活かし、夏の陽射しや風から守られたアウトドア空間を提案する。

このエリアでは、木造のログハウスの壁に布を張れば、風雨にも耐えられる丈夫なテントが完成。一方で、布を外せば、瞬時に広がる空間はレジャーシートとしてに覆われ、ピクニックの楽しみも満喫できる。

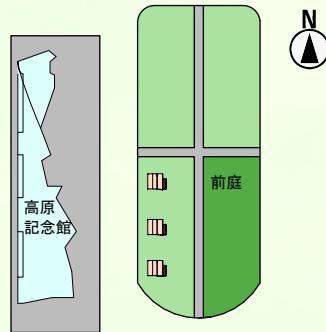
材料



木造
吸湿性に優れる
断熱性が高い
芳香性がある
強度がある

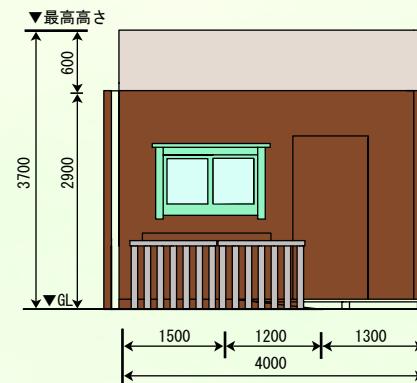


ポリエステル
軽い
薄く・柔らかい
水を弾く
コストが低い

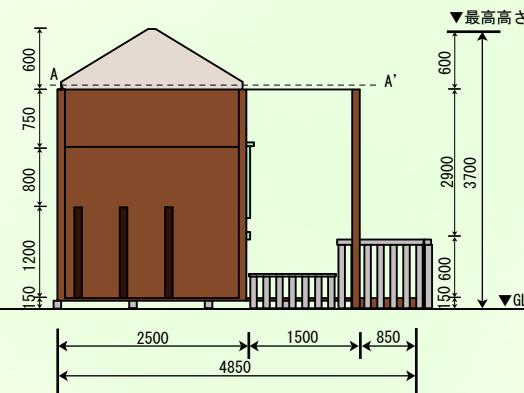


配置図 S=1:2000

杉本キャンパスのみならず広大な芝生の前庭をもつ大学をターゲットとした

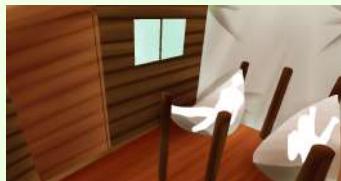
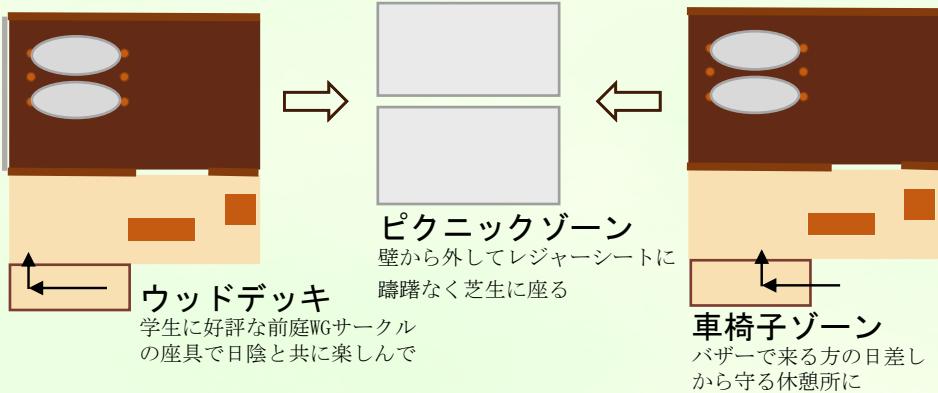


西立面図 S=1:100



北立面図 S=1:100

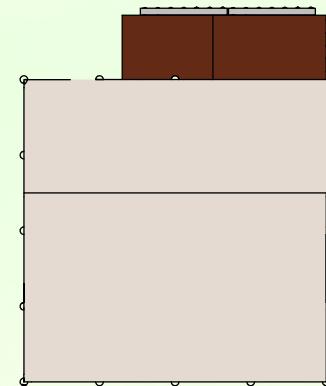
模式図



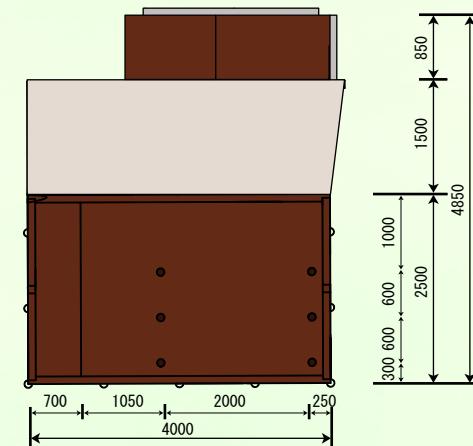
直射日光を防ぎ芝生に囲まれてハンモックで寝そべって。視線を壁で適度に遮り快適な昼寝を。



板を柱に括って好きな態勢で自習することも可能。靴を脱いで勉強できるのは布ならではのこと



平面図 S=1:100



A-A' 断面図 S=1:100